

## 2 / 17 校長講話 読書旬間おすすめの本

2月10日から21日まで読書旬間です。

図書委員会の皆さんが、低学年へ読み聞かせをしたりクイズに答えたら景品を渡したりしています。また、今回、図書委員会の一人一人の子が、おすすめの本をタブレットでまとめてくれました。積極的に活動する図書委員会の皆さん、すばらしいなと思っています。

今日は、私から2冊の本を紹介します。

1冊目は低学年向きです。「ねずみくんのきもち」です。

ねずみくんシリーズで「ねずみくんのチョコキ」や「ねずみくんのホットケーキ」など読んだことがある人もいるかもしれません。

私が紹介する「ねずみくんのきもち」はこんなお話です。

ねこくんは、ねずみくんを見るといつも意地悪してきます。ねずみくんは考えます。「またいじわるされちゃった。ぼくって、小さくて気が弱くて、なにをしても失敗ばかり。だからいじめられるのかなあ」落ち込んでいるねずみくんに、ふくろうさんは優しく言いました。「きっとねこくんは、一番大切なものを忘れているんだよ」ねずみくんは、ふくろうさんと一緒に、一番大切なものは何か気づいていきます。

一番大切なものとはなんなのでしょう。ぜひ、読んでみてください。

2冊目は高学年向きです。「迷犬マジック」です。この本は、全部で4つのシリーズがあります。「迷犬マジック」はこんなお話です。

迷い犬のマジックが、さえない毎日を送っている人のところへ迷い込んできます。仕方なくその人はマジックを飼い始めます。すると小さな奇跡が起き始めるのです。心がほっこりと温かくなるわんこのお話です。

どんな奇跡がおこるのでしょう。ぜひ、読んでみてください。

この2冊の本は、校長室前に展示します。興味がある人は見に来てください。

この読書旬間で様々な本との出会いができるとうれしいです。